区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会公明党

ネウボラ事業やいじめ・ひきこもり相談窓口の周知に工夫を

葛飾区版ネウボラ事業の推進

問 事業を広く周知するため、ネウボラの考え方をわかりやすく表現したポスターやパネルを掲示してはどうか。

答 わかりやすい内容のポスターを健康プラザかつしかや各保健センター、子育て支援施設、医療機関等に掲示する。また、パネルを区民ホール等に掲示し、周知に努める。

問 産後ケア事業を実施している自治体を対象に費用を助成するという国の動向についてどう考えているか。

答 対象となる産婦健康診査を導入するには、実施する医療機関の整備など課題がある。関係機関との調整や健康診査後のフォロー体制など実施に向け検討する。

※他の質問項目　新生児聴覚スクリーニング検査　など

防災

問 感震ブレーカー設置助成の対象者、対象地域を拡大する必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 感震ブレーカーの設置は、電力会社や電気利用者の負担が原則であり、本区は、延焼危険の高い地域に住む高齢者や障害者を主な助成対象としている。より多くの世帯が設置するよう今後もPRに努める。

問 家具転倒防止器具取付け支援事業の対象拡大やガラス飛散防止フィルムへの助成を行ってはどうか。

答 自助の取り組みが原則であるが、介護される方がいる世帯や未就学児のいる世帯について、支援を検討する。

※他の質問項目　学校での救命救急教育　など

いじめ・ひきこもりに対する相談体制の充実

問 いつでも相談できるメール相談は悩みを抱えた児童・生徒の受け皿として必要であり、周知方法や相談しやすい機能への改善など、工夫を望む。区の見解を伺う。

答 年度当初に教育相談カードの配布等、周知を行っている。アクセスしやすいようにホームページのトップページへの情報掲載やいじめ相談専用メールアドレスを開設する。

問 本区で策定予定の子ども・若者計画の行程について伺う。

答 平成29年度は、庁内検討組織及び有識者等で構成する協議会を立ち上げ、計画の基礎資料とするための実態調査を行う。30年度から調査結果を基に計画内容の検討・調整に着手し、パブリックコメントを経て、年度末までに策定作業を終える予定である。

※他の質問項目　ひきこもりの相談窓口　など

介護ロボット等導入支援を推進し介護従事者の処遇改善を

問 本区ならではの児童相談所設置希望の考え方はあるか。

答 子ども総合センターが担っている児童虐待の第一義的な対応から、児童相談所における専門的な対応までを地域のネットワークを活用し、子どもや家庭の関係を途切れさせることなく展開することで、子どもの利益を守りたいと考える。区の強みである顔の見える関係をベースに、総合的かつきめ細やかな児童相談行政を確立していく。

問 開設に向けたロードマップを早期に作成し区民・議会へ示すべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 都の児童相談所における区職員の研修は希望どおりの受け入れが困難であることから、当初のロードマップを見直す必要が生じた。今後必要な調整・修正を行った上で示す。

※他の質問項目　児童相談行政に携わる人材の確保　など

児童・生徒の学力、体力向上

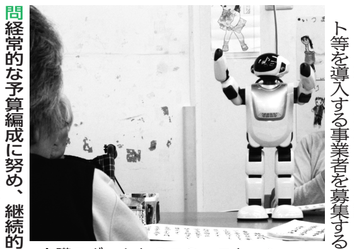
問 かつしかっ子チャレンジの取り組み状況と、その成果について伺う。

答 国語、算数・数学、英語の基本的な問題を全ての子どもが合格するまで取り組むチャレンジ検定で、平成28年度に全員が合格した学校は、小学校で34校、中学校で3校となった。また、東京都の調査において、成績下位25%層に前年度からの改善がみられるなど、成果が出ている。

問 葛飾学力伸び伸びプランについて、効果の高い取り組みの全校実施を要望してきたが、現在の進捗を伺う。

答 授業改善のための研究会講師招聘など、効果的なものを多くの小中学校で取り組んでいる。

※他の質問項目　体力の向上　など



介護ロボットとのコミュニケーション

問 経常的な予算編成に努め、継続的に介護ロボット等導入支援事業の推進を図るべきと考えるがどうか。

答 介護ロボット等を導入した介護サービス事業者の活用状況や導入効果、介護ロボット等の導入の意向を把握しながら、事業の継続を検討する。

※他の質問項目　高齢者の声に応えたサービスの質向上

介護サービスの充実

問 本区の介護ロボット等導入支援事業を評価する。支援が開始された平成28年度と今年度の現状を伺う。

答 平成28年度には、10法人で介護ロボット等が導入され、夜間の見守りや腰痛の防止など、介護従事者の負担軽減効果があった。今年度においても、区独自の事業として介護ロボット等を導入する事業者を募集する。

自由民主党議員団

夢と誇りある ふるさと葛飾づくりの推進を

区長の今後の政治姿勢、葛飾区政への取り組みに対する考え

問 区民の代表である議会の場を通じて、区長選挙に対する決意を葛飾区民に明らかにすべきと思うがどうか。

答 2期目では、葛飾の街を全ての区民が夢と希望を抱き、誇りを持って暮らせる街につくり上げていくという志を持って区政運営に当たってきた。引き続き区政の課題解決にまい進し、夢と誇りあるふるさと葛飾を築いていくため、秋に予定される区長選に出馬する。

子育て支援施策のこれまでの成果と今後の課題

問 第2期青木区政における子育て支援策の具体的な成果とその評価を伺う。

答 保育需要の急増に応え、4年間で1千935人の定員増を行ったほか、区の独自施策として子育て世帯の経済的負担軽減にも取り組んだ。また、23区初の取り組みとして発達に課題のある児童を早期に発見し、早期支援につなげるための5歳児健康診査事業などを実施した。これらは一定の成果を上げているが、課題も残っており、待機児童ゼロに向け、引き続きさまざまな方策を講じていく。

※他の質問項目　子ども・子育て支援事業計画の実績と見直し　など

大規模イベントに際しての危機管理対策

問 大規模イベントなどに際しての危機管理対策の取り組みや、今後の新たな取り組みについての見解を伺う。

答 これまでのイベント開催で積み上げてきた危機管理対策を生かしつつ、警察署や消防署などと協議を重ねて取り組んできた。また、新たな取り組みとしてテロ行為等を見据え、イベントの実施に必要な着眼点をまとめた手引きの作成などを行い、普及啓発に努めている。今後も関係機関と連携を密にし、危機管理対策に万全を期していく。

※他の質問項目　イベントで危機事象が起きたときの体制

命を守るAEDの普及と北部地域のバス路線網の拡充を

問 児童相談所の敷地規模、立地条件、検討状況について伺う。

答 敷地規模は一時保護所を含め1千500㎡程度の広さが必要であり、区内中心部で関係機関との連携が取りやすい地域が望ましい。現在候補地の最終的な絞り込みを行っている。

※他の質問項目　児童相談所設置に伴う採用計画の策定　など

障害者の就労の推進・就労定着支援

問 障害者の就労を支援するため、ハローワークや就労支援施設とどう連携し、課題をどう捉えているのか伺う。

答 ハローワーク墨田との定期連絡会や就労支援ネットワーク会議を開催し、障害者の就労支援のあり方の検討や情報共有を行っている。障害者の希望や障害特性などに合わせた支援を行い、就職に結び付けることや働き続ける力を養うことなどが課題である。今後、関係機関とのネットワークをさらに強化し、就職に向けた支援を行っていく。

※他の質問項目　精神障害者の就労をさらに推進するための支援策　など

AED設置

問 区内のAEDの設置状況を伺う。

答 平成17年から区有施設に設置してきたが、本年5月末現在、全国AEDマップには区内で697台が登録され、うち177台は本区が設置し、また377台は一般区民が使用可能となっている。

問 24時間営業のコンビニへの設置は大変有効と考えるが区の見解を伺う。

答 区内にある24時間使用可能なAEDは小中学校や地区センターなどの189台である。24時間営業のコンビニに設置すると約170カ所増えるほか、設置のわかりやすさや店員の協力を得やすいなどのメリットがあり、区民の命を守るための有効な手段と考える。今後、先進自治体の状況を参考にしながら設置を検討する。

24時間使用可能なAED

ふるさと葛飾盆まつり

問 コンテストなどの参加者への送迎バスを会場から離れた地区全てに手配する必要があると考えるがどうか。

答 現在、地元の金町以外の18地区に送迎バスを手配するよう準備している。

※他の質問項目　模擬店等の募集状況

北部地域の都市計画道路の整備及びバス交通

問 北部地域の都市計画道路の整備の取り組みについて、見解を伺う。

答 補助261・138号線は西水元地区とJR金町駅周辺や亀有方面との道路ネットワークを形成する重要な路線である。未着手区間を含め早期の事業化に向けて継続的に取り組む。

問 水元総合スポーツセンター体育館へのアクセスについて、見解を伺う。

答 利用者の利便性向上を図るため、スポーツセンターに直接乗り入れるバス路線の実現に向けてバス事業者と協議を進めている。また、団体利用のバスが乗り入れる走行環境の整備も完了した。今後もアクセス向上に向けて取り組みを進める。

※他の質問項目　北部地域へのバス路線網の構築　など

区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

日本共産党葛飾区議会議員団

平和こそ宝 くらし・福祉を区政の真ん中へ

平和関連事業

問 青戸平和公園は、平和のシンボルとして、求められる役割にふさわしく、より区民に親しまれる公園にリニューアルすべきと思うがどうか。

答 非核平和のつどいが行われる一方、憩いの場や災害時の活動の場等、多機能な公園である。昨年度に防災活動拠点施設や遊具を改修し、今年度、うんどう教室の器具設置の予定である。地域要望を踏まえ、より親しまれる公園になるよう取り組む。

※他の質問項目　小中学生の広島・長崎平和式典への派遣　など

国民健康保険料

問 国、都に対して財政負担の増額を求めてはどうか。

答 国へは全国市長会を通じて財政支援拡充とさらなる国保財政基盤強化を、都へは特別区長会を通じて新国保制度への円滑な移行に向け激変緩和措置を講じるとともに低所得者に配慮した財政支援の強化を要望している。

※他の質問項目　区独自の減免制度の構築　など

保育園の園庭で遊ぶ子どもたち

子育て支援

問 子ども・子育て支援事業計画のローリングに当たっては、抜本的に目標値を見直すべきと思うがどうか。

答 計画の見直しに当たっては、内閣府より示されている考え方を基本に保育需要の実績を踏まえて、計画から大きく乖離する地域や支給認定区分の検討を重点的に行い、区全域の量の見込みと確保方策を見直していく。

問 学校給食の食材調達方法は、区内の事業者育成と地産地消の観点から抜本的な改善が必要と思うがどうか。

答 食材の納入事業者選定に当たっては、同一食材の品質・価格の比較、安定供給が可能かなどを確認し、より良い食材を納入できる事業者を選定している。引き続き、適切な選定過程の下、地域経済の振興及び区内事業者育成の観点からも区内事業者を優先して選定するよう努める。

※他の質問項目　早期の学校給食全面無償化　など

低所得・生活困窮者を守る安全対策

問 簡易宿泊所などの利用者の自立支援のため、また、公営住宅の需要と供給のバランスが大きくかけ離れている実態を直視し、区として、公営住宅の供給に真剣に取り組むべきと思うがどうか。

答 人口減社会を目前に控え新たな公営住宅の供給に取り組む考えはないが、今後も住宅セーフティネットとしての役割をさらに拡充するため既存ストックの適正な管理に努める。また、法改正の動向を注視し、民間賃貸住宅の活用を含めた住宅セーフティネット強化を研究して区民が安心して暮らせる居住環境の確保に努める。

※他の質問項目　重層長屋等の建築規制　など

政策葛飾

補正予算の適正な精査・編成と学校図書館の充実・活用の推進を

補正予算のあり方

問 当初予算、いわゆる年間総合予算についての認識を伺う。また、補正予算との違いをどう考えているのか。

答 当初予算は年間の区民行政に係る経費を年間総合予算として編成しており、補正予算は新たに財政措置が必要な場合や既定の予算計上額が大幅に変動する場合などに編成している。

問 補正対応している防災訓練車購入やリリオ改修経費などは、その緊急性が理解できない。区の緊急性の基準はどういうものなのか伺う。

答 緊急性の基準は、区民サービス向上の観点から、案件ごとに必要性を吟味し精査することだと考える。

※他の質問項目　補正予算で調整する事項の精査　など

非常勤職員の任用

問 地方公務員法の改正により配置することができる会計年度任用職員を、どのように活用していくのか伺う。

答 特別区共通の課題として捉え、今後、特別区の制度構築の検討を進める。

問 会計年度任用職員が配置されることに伴う区政への影響と、その対策について区の考え方を伺う。

答 労働時間数により期末手当などの支給が可能になるなど人件費の増加が見込まれており、今後、制度構築の中で対策について検討していく。

※他の質問項目　現在の非常勤職員、再任用職員、臨時職員の配置基準

学校図書館の充実と活用

問 今年度の学校図書館モデル校における取り組みはどのようなもので、成果をどう捉え発展させる予定か伺う。

答 学校司書を週24時間配置し、連携を深め、学校図書館を活用した授業の充実を図るための研究に取り組み、成果を授業公開などで区内に還元し、各校の授業実践に生かしていく。

問 本区の小中学校において、国や区のガイドラインにもある新聞の複数紙配備を早急に全校で実施すべきと考えるがどうか。

答 現在、モデル校で複数紙配備を行っており、その研究成果に基づき、補助教材としてより有効な活用ができるよう今後の配備について研究する。

学校教育における新聞の導入

※他の質問項目　学校図書館充実に向けた人材の確保　など

葛飾区議会民進党議員団

無電柱化の推進及び区の環境政策の推進・歴史文化の継承を

葛飾区の無電柱化の推進

問 木造住宅密集地域の無電柱化を都と連携して進めるべきと思うがどうか。

答 都の防災都市づくり推進計画に堀切地区の一部路線を無電柱化の検討路線に位置付け、地域の防災性向上を目指している。都は区部における無電柱化を推進するため、無電柱化チャレンジ事業を創設した。今後、本制度を活用し、都市防災機能の向上などを目指したい。

※他の質問項目　区の進捗状況　など

葛飾区の環境政策

問 地球温暖化対策実行計画が見直しに入るが、今後の科学技術の発展や、環境変化を見据えて計画を策定すべきと考えるがどうか。

答 今後の環境変化を適切に予測し、実現が予想される技術革新だけでなく、水素社会実現への取り組みなど実用段階に至っていない技術なども見据え目標設定することが重要と考える。

問 水元公園周辺などに自生する希少種に関し、公共事業を進める上で環境調査はどのようになっているか。

答 希少種への影響が懸念される場合などに際しては、都や関係機関、自然環境保護団体や区関係部署と連携、協働しながら、植生調査などを踏まえ希少種の保護に努めていく。

※他の質問項目　屋敷林の保全　など

葛飾区の歴史文化の継承

問 区の歴史・文化資源を後の世代に継承しさらに活用をするため、まちづくりや観光部門などを含めた検討体制を整備すべきと考えるがどうか。

答 現在の柴又地域文化的景観検討委員会を発展的に見直し、継続させるなど、地域の方々が参画し、また、区の組織が横断的に関与して歴史や文化資源を有効に活用し後世に伝えていけるような検討体制を考えていく。

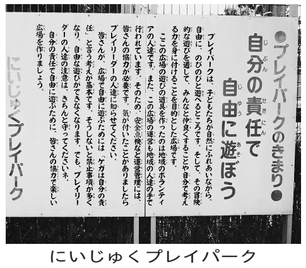
※他の質問項目　鬼塚の整備　など

子どもの遊び環境

問 今後、子どもの遊び環境の充実のため、区立公園を活用したプレーパークを検討してはどうか。

答 地域の方々のご協力が不可欠であり、今後地域からの要望があった場合には、実現に向けた検討を進める。

※他の質問項目　地域の中での遊び環境の支援　など



にいじゅくプレイパーク

無所属（※2）

新庁舎整備の候補地選定の問題 現庁舎跡地は代替え都市公園に

まちづくり・観光

問 京成高砂駅から江戸川駅までの連続立体交差事業の進捗状況を伺う。

答 都営高砂四丁目アパートの建て替えにより生み出された用地を活用し、車庫を移転する案を検討している。

問 新庁舎整備の候補地として整備費の一番安い青戸平和公園案を選定しない理由を伺う。

答 立地条件やコストなどを検討し、区民の利便性が最も高い立石駅北口地区を移転先として選定した。

問 亀有駅南口の風害対策について伺う。

答 歩行環境改善のため、風環境などの調査結果を基に取り組みを進める。

問 江戸川区のレンタサイクル事業との連携について伺う。

答 新小岩駅での連携について、両区にとってのメリットを含め研究する。

※他の質問項目　矢切の渡しを通じた松戸市との観光事業の連携　など

庁舎整備３案の一つ、青戸平和公園

公共交通

問 新金貨物線の旅客化などの公共交通網整備調査の進捗状況を伺う。

答 調査に2カ年程度を要し、節目節目に議会へ報告し進めていく。

※他の質問項目　小田急複々線化に伴う亀有・金町駅の連行ダイヤ　など

学校教育

問 福祉部の学習支援事業を教育委員会へ執行委任すべきと思うがどうか。

答 次年度から教育委員会指導室に執行委任されるように調整している。

※他の質問項目　チャレンジ検定の実態と見直し　など

他の質問件名　土地開発公社並びに区が所有する土地、公契約条例の制定